

広畑製鉄所



地元小学校で出前実演



広畑製鉄所は12月4日、姫路市立広畑小学校で「第4回たたら製鉄出前実演」を行った。同校5年生77人の児童は、グラウンドで模擬炉の組み立てや熱した鉄片をハンマーでたたき鍛冶作業を体験。たつの市新舞子浜で自ら採取した砂鉄を原料に出来上がったケラ(※)を所員が炉から取り出すと、大きな歓声が湧き上がった。

原料に出来上がったケラ(※)を所員が炉から取り出すと、大きな歓声が湧き上がった。

名古屋製鉄所



新入社員と中学生が競演



名古屋製鉄所は11月14、15日、愛知県東海市の「東海秋まつり2009」でたたら製鉄を実演した。秋まつりでの実演が4回目となる今回は、新入社員12人が1基、黒崎播磨(株)と濱野鋼業(株)の社員の指導の下で東海市立青少年センターで活動する中学生6人が1基を操業し、どちらも7kgを超えるケラを取り出すことができた。

新入社員12人が1基、黒崎播磨(株)と濱野鋼業(株)の社員の指導の下で東海市立青少年センターで活動する中学生6人が1基を操業し、どちらも7kgを超えるケラを取り出すことができた。

全国のものづくりの心をつなぐ

日本古来のたたら製鉄は、砂鉄を原料とし、3日3晩かけて、ふいごと呼ばれる送風装置を使って木炭を燃やして鉄を取り出す製鉄法。新日鉄では、ものづくり・鉄づくりの面白さを皆様に伝えるため、たたら製鉄の原理を応用して、1日で鉄づくりを体験できる「たたら製鉄実験」を各地の製鉄所や科学技術館などで開催・支援している。今号では昨年8月から12月にかけて行われた「たたら製鉄実験」の様相を紹介する。

北九州・育成たたらと市民たたら



地域共生と人材育成を図る



八幡製鉄所は11月29日、北九州市八幡東区の東田第一高炉史跡広場で当社・協力会社社員の人材育成を目的とした「東田たたらプロジェクト2009」を開催した。北九州産業技術保存継承センター主催の「市民たたら」も同時に行われ、参加した親子はものづくりの楽しさを味わっていた。製鉄所では同イベントを通じて、地域共生と人材育成を図っている。



室蘭製鉄所



原料装入で鉄づくりを体感



室蘭製鉄所は8月1、2日の両日、室蘭市の新日鉄球場でたたら製鉄実験を行った。若手スタッフ38人が中心となって企画・運営し、事前に市内の学校やスーパー、病院などでPR活動を展開。炉容積を前年よりも33%拡大した新世代たたら操業に挑戦し、約10kgのケラを取り出すことに成功した。帆布服に軍手姿で汗だくになりながら原料装入を体験した子どもから、「あんな暑い格好をして毎日仕事を頑張っているなんてすごいね」と感想が寄せられた。

釜石製鉄所



八戸高専祭で実演



釜石製鉄所は「鉄作り体験会」を、8月1日に岩手県釜石市の釜石鉱山(株)事業所で、10月25日に青森県八戸市の国立八戸工業高等専門学校で実施した。釜石では小学生の親子80人がたたら製鉄を体験したほか、製鉄所若手スタッフが植木鉢とぶりき製ごみ箱の簡易炉で鉄づくりに挑戦した。また、八戸では同校の文化祭の招待を受け、200人を超える来場者の前でたたら製鉄を実演した。

“たたら”の熱い炎”

日本鉄鋼連盟



科学技術館で親子イベント



日本鉄鋼連盟は、11月29日、科学技術館(東京都千代田区)で「ものづくり体験『たたら製鉄実験イベント』」を開催した。NPO法人「ものづくり教育たたら」の指導の下、19組38人の親子が参加し、炉づくりから木炭・砂鉄装入、ケラ出しまでを行った。足で踏んで送風する「ふいご」も子どもたちが交代で体験。砂鉄30kgから約5kgのケラができ上がり、その一部は科学技術館に展示されている。

NPO 法人ものづくり教育たたら



砂鉄採取と炭焼きも体験

新日鉄をはじめ鉄鋼各社が協賛して立ち上げたNPO法人「ものづくり教育たたら」は、東京工業大学名誉教授の永田和宏氏が理事長を務め、たたら操業指導者を養成するほか、全国の学校や企業が企画するたたら製鉄体験学習の指導を行っている。

2009年は、子どもゆめ基金を活用したたたら教室を開催。小学4年生から中学3年生の38人の子どもたちとその保護者が参加し、8月から9月にかけて、千葉県千倉海岸での砂鉄採取、群馬県赤城青少年交流の家で炭焼き体験、現代の製鉄法を学ぶ君津製鉄所見学、11月22日に日本工業大学でたたら操業を行い、総合的に鉄づくりの過程を体験した。

ものづくり教育たたらHP — <http://www.tatara.or.jp>